

令和4年度  
佐久市男女共同参画推進表彰事業者

# 田町区

## 《事業内容》

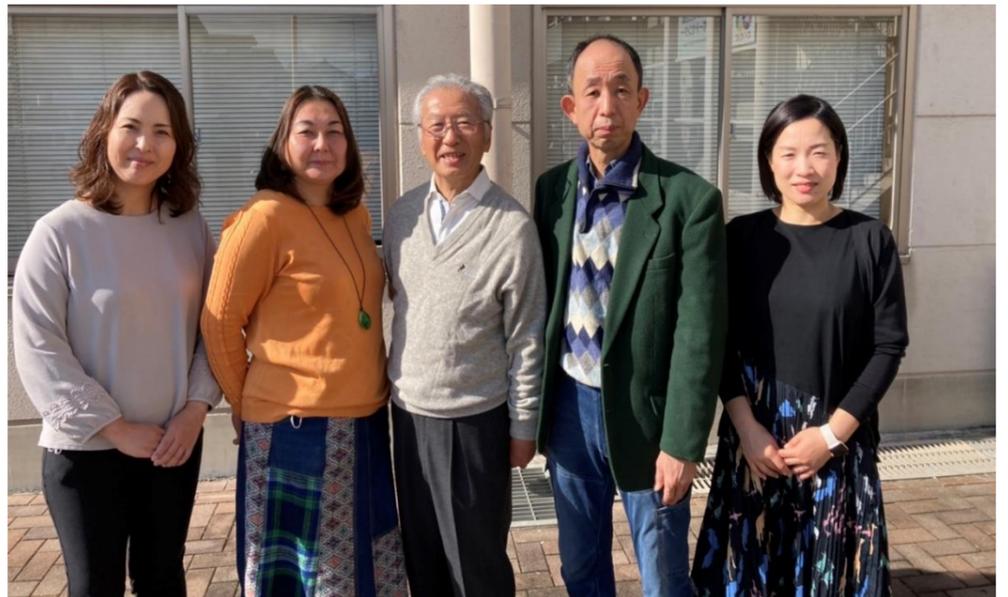
自治会活動の運営

代表者名 関 裕治

役員数 5 名

内訳: 女 性 3 名

男 性 2 名



## 積極的に取り組んでいる内容

- 1 区役員に子育て世代や移住者である女性が参画することにより、区の運営に新たな視点が入り、活動が活発となりました。
- 2 公民館による「お困りホットライン」を開設し、区民の方が相談できる場所を設置しています。
- 3 防災対策として、区民台帳を整備し、オクレンジャーによる連絡体制を確保しています。
- 4 コロナ禍でも、つながりが希薄にならないよう、密にならずに、区民が参加できるイベントを企画  
5月、区民に折り紙を配布し、各々、手形と祈りを描いてもらい、その折り紙を合わせて大きな鯉のぼりを形作りました。(信濃毎日新聞に掲載される。R4.5)

## 役員の声

- 女性活躍の場を提供するというより、女性に参加してもらい助けられているのが現状です。区長(70代男性)
- 女性役員の協力で自治会活動や自身の役員の仕事が出来ます。感謝しています。役員(50代男性)
- PTA役員からの縁で「何か出来ることがあれば。」と公民館長になってから早2年、地域の皆さんと関わることが増え、楽しんでやらせてもらっています。公民館長(40代女性)
- 役員活動を通して、地域と関わりの中で様々な経験ができ、自分の成長に繋がっているのを実感しています。副公民館長(40代女性)
- 移住して一から関係作りをするにあたり、区の役員として関わらせて頂けたことで、早く地域に馴染むことができました。広報(40代女性)

## 今後の取組方針

- 持続可能な体制作り  
女性、男性にかかわらず、仕事と区の活動を両立できる会議時間の設定などに継続して取り組みます。
- 男女共同参画は入り口  
男女差別は、分かりやすい入り口です。男女共同参画を推進した結果、発想の自由度が上がりました。  
今まで当たり前捉えてきたことから、高齢者問題、子育て支援、空き家問題などが、新たな姿に見えてきます。過去から現状だけ見ているのは気がつかないことに、さらに将来の視点が入ることで繋がりや、目指すべき方向が見えてくるのではと期待しています。